

台湾で開催された 2016 UTAR-UST Workshop on Risk Reduction and Management で 研究成果を発表しました (2016/10/13-14)

テーマ：リスクマネジメント

場所：National Central University (Taoyuan, Taiwan)

2016年10月13日(木)、14日(金)の2日間、台湾の桃園市にある National Central University(NCU)において、『2016 UTAR-UST Workshop on Risk Reduction and Management』が開催されました。主催者は、University of system of Taiwan、NCU の5つの研究センター等、Disaster Prevention & Water Environment Research Center (NCTU)及び Institute of Emergency and Critical Care Medici, National Yung-Ming University で、台湾、マレーシア、日本から約25名の研究者等が参加し、災害のリスク軽減やマネジメントに関する研究発表と活発な意見交換が行われました。日本の防災対策の実情の理解を得るとともに、台湾及びマレーシアの防災対策や防災研究の現状を知る貴重な機会となりました。

当研究所からは、丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）が招待の基調講演で登壇し、寅屋敷哲也（同部門）も研究成果の発表を行いました。講演題目等は次の通りです：

【講演題目】

Hiroaki Maruya: History and Present Status of Business Continuity Management (BCM) for Companies and Governments in Japan

Tetsuya Torayashiki, Hiroaki Maruya: Study on Expansion of Public-Private Agreements against Disasters in Prefectures in Tohoku Region Utilizing the Lessons of the Great East Japan Earthquake

※著者名は、筆頭著者と研究所構成員のみ記載。下線は研究所構成員。



基調講演の様子（丸谷教授）



発表の様子（寅屋敷助教）



会場の様子

文責：寅屋敷 哲也（人間・社会対応研究部門）